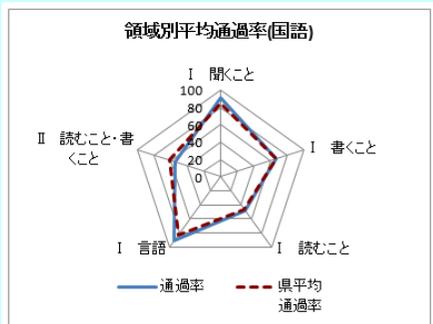
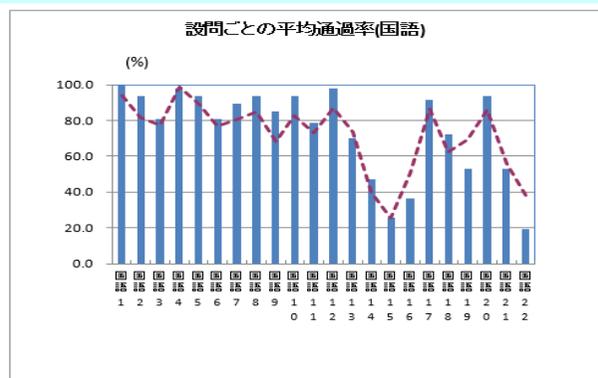


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校74.9%, 県71.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○国語の結果において、タイプⅠは79.3%、タイプⅡは54.8%の通過率となっている。この結果から、活用問題については依然課題が残っている。領域別でみると、「聞くこと」が91.5%、「言語」が90.1%と良い結果であった。この中では、簡単な単語についてローマ字で書くことが78.7%と低かった。また、「書くこと」が66.7%で、段落相互の関係などに注意して文章を構成する問題が36.2%と非常に低かった。さらに「読むこと」については47.5%とさらに低い。中心となる語や文をとらえて、文章を正しく読む問題は25.5%と最も低い。以上のことから読む力と書く力について大きな課題があることがわかる。

重点課題

- 【課題1】詩の描写を想像力を働かせながら読み取り、書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由を挙げて書く問題に課題がある。(通過率19.1%) 特に、詩の中の言葉を手がかりに想像したことをまとめる力をつける必要がある。
- 【課題2】中心となる語や文をとらえて、文章を正しく読む問題に課題がある。(通過率25.5%) 誤答例として「大切」(26.5%)と「おもてなし」(38.8%)を挙げた児童が多かった。これは、主語と述語の対応を考えていないことや字数だけを考慮して解答していると考えられる。文章全体を読み、その要旨を的確に読み取る力が弱いと考える。

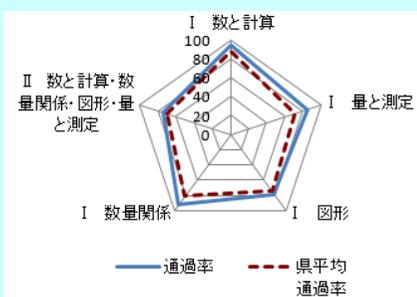
重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】言葉を吟味したり、想像したりしたことを書く活動を授業の中や家庭学習で取り組ませていく。その上で、意見交流をして、友だちの読み取りから学んだことを自分の読みにかかしていくようにする。また、表現のよさや効果などをとらえることができる読み方をさせる。
- 【課題2】主語と述語の関係を意識させながら文章を読み取るよう随時、指導する。主語と述語を読み取る問題をパワーアップタイム(帯タイム)で取り組ませる。また、文章全体を読み、作者の意図をまとめるなどの活動をして、全体交流の場で吟味する授業を組み立てる。新聞記事の要旨を字数制限の条件に合わせてまとめさせる。

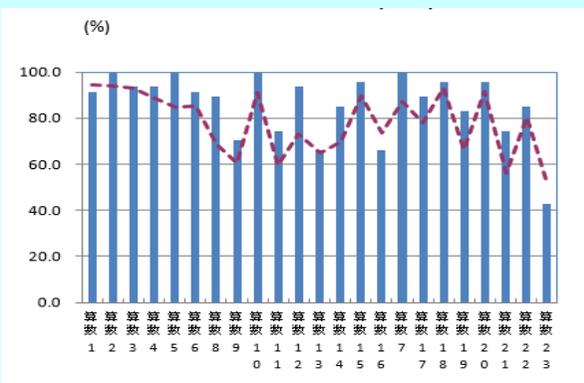
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		5年生 前期末テスト	5年生 H23「全国学力」	5年生 単元末テスト	5年生 H24「全国学力」	5年生 H25「全国学力」	5年生 H26「全国学力」
目標値		80%	60%	80%	63%	66%	70%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4年生 3年生のNRT	4年生 前期末テスト	4年生 4年生のNRT	4年生 H24「基礎・基本」	4年生 H25「基礎・基本」	4年生 H26「基礎・基本」	後期末テスト
目標値	70%	80%	65%	65%	68%	70%	80%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 85.9%, 県 78.0%)

領域別平均通過率



数と計算の平均通過率



本年度の結果について

算数の結果において、全体は85.9%、タイプⅠは88.4%、タイプⅡは74.5%の通過率となっている。通過率60%以上の児童の割合は、95.7%となっている。この結果から、基礎的・基本的な学習内容については定着が図られていると考えられる。

昨年度は、図形の領域で課題が見られた。そこで、垂直と平行の意味について感覚を伴って理解させるために、直方体を実際につったり、実際に直方体の箱を使って垂直や平行の辺や面を捉えたりさせる活動を行った。また、辺や面の表し方を正しく記述させるために、どの授業でも算数的用語や記号を正しく使うよう意識して指導した。その結果として、図形領域では、4.7ポイントあがり、78.2%の通過率となった。

重点課題

【課題1】垂直と平行の意味理解ができていないことや辺や面の表記の仕方が理解できていないことが課題である。直方体の面と辺の関係について、ある一つの辺に対して垂直な面を捉えられていない児童が34.0%。(通過率66.0%)

【課題2】自分の考えや解決方法を筋道立てて説明する問題に課題がある。複数の条件を基に筋道を立てて考え、その考えを数学的に表現することができない児童が80.0%。(通過率42.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】垂直と平行の意味について、感覚を伴って理解させるために、直方体を実際につったり、実際に直方体の箱を使って垂直や平行の辺や面を捉えたりさせる活動を行う。辺や面の表し方を正しく記述させるために、どの授業でも算数的用語や記号を正しく使うよう意識して指導する。

【課題2】与えられた条件を基に問題を解決する過程を式や言葉、図で表すなど、筋道を立てて考えさせる。また、不十分な説明をよりよい説明に洗練させる。自分の考えを振り返らせ、つまづきや間違いの原因に気づかせることや、不十分な説明を例としてとりあげ、足りない表現を付け加えたり、誤った表現を修正したりする活動を取り入れる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年・前期末テスト	4年・単元末テスト	4年 H26「基礎・基本」	4年 3年NRT	4年 H24「基礎・基本」	4年 H25「基礎・基本」	4年 H26「基礎・基本」
目標値	75%	75%	70%	80%	65%	70%	73%
実施後数値							

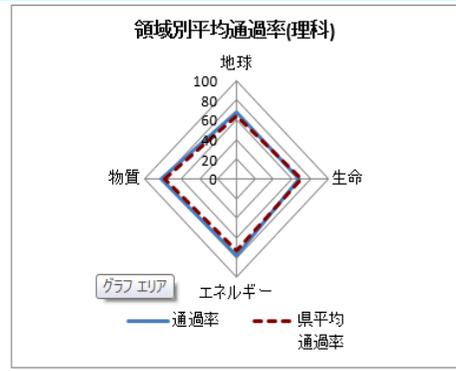
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年 H26「基礎基本」	5年・単元末テスト	5年 H24「全国学力」	5年 H25「全国学力」	5年 H26「全国学力」
目標値			80%	75%	60%	65%	70%
実施後数値							

指導方法等の改善計画について〔理科〕

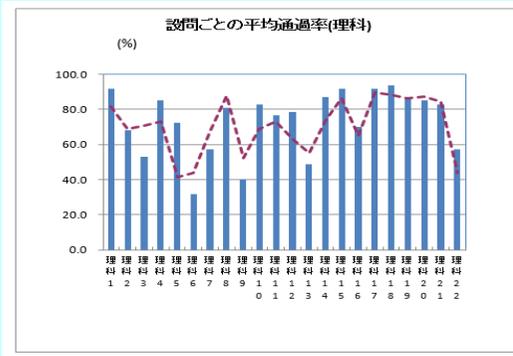
東広島市立下黒瀬小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 73.4%, 県 70.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○理科の結果において、タイプⅠは76.9%、タイプⅡは65.9%の通過率となっている。この結果から、活用問題について依然課題が残っている。領域別に見ると、A領域では、「エネルギー」を柱とした内容では「風やゴムの働き」が40.4%、「金属と温度」が57.4%と低く、「電気の働き」が70.2%とやや低かった。「粒子」を柱とした内容では「物の重さ」が90.4%と良い結果であった。一方、B領域の「生命」を柱とした内容では、「季節と生物」が40.4%、「人の体とつくり」が57.4%といずれも低く、「地球」を柱とした内容でもタイプⅠが70.2%、タイプⅡが42.6%といずれも低かった。

この結果からタイプⅡのような問題で、A領域では、ある事実や実験結果から、B領域の観察を通して環境とのかかわりについてそれぞれの観察結果と関連させる見方・考え方が課題であると分かった。

重点課題

- 【課題1】月の形と時刻による位置変化と日にちの変化による満ち欠けを混同している。(通過率 53.2%)。また、太陽の位置と影の関係が正しく認識されていない。(通過率 31.9%) このことより、それぞれの観察した結果を整理して結びつけて考える事に課題がある。
- 【課題2】実験の結果から分かったゴムの性質や金属の性質を元にして、新たな課題の考察をすることができていない。(ゴムの働き 49.8%) その結果を実験結果から分かった条件を理科的な用語を正しく使って、根拠を元に述べていく事に課題がある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

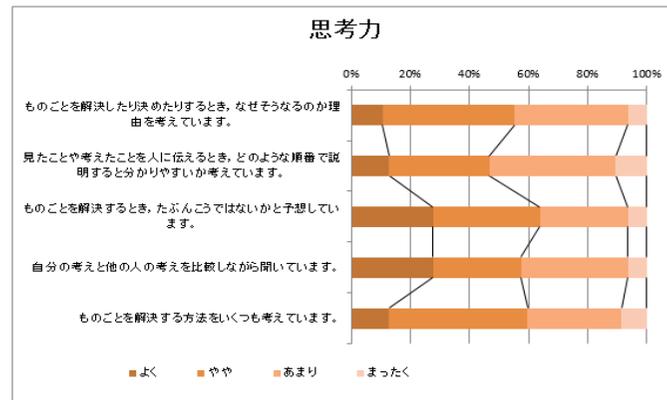
- 【課題1】観察の結果を整理する場面では、それぞれの結果を関連付けやすいノート整理や、まとめる時にキーワードや理科的な用語に着目するノート指導を行う。また、問題を考えるとき、必要な結果を適切に選択し結びつけることができるように社会科の学習で行う複数のデータや資料から必要な項目を適切に選択する方法を利用した授業改善を行う。
- 【課題2】実験の結果を考察する場面で、考察の仕方を3学年から指導して徹底していく。その際には、理科的な用語を使うことを意識して1つ1つさせる。その上で、根拠を明確にしながら結論に結び付けられるようにさせる。その為に、児童の実態に合わせたワークシートやキーワードを示したり理科的な用語を記入したりする支援カード等の準備をして指導に当たる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年・前期末テスト	4年・前期末テスト	4年 H26「基礎・基本」	4年 5年NRT	4年 H24「基礎・基本」	4年 H25「基礎・基本」	4年 H26「基礎・基本」
目標値	80%	80%	70%	70%	70%	70%	75%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			5年 H24「全国学力」	5年 H26「基礎・基本」	5年 H24「全国学力」	5年 H24「全国学力」	5年 H24「全国学力」
目標値			60%	80%	65%	70%	75%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

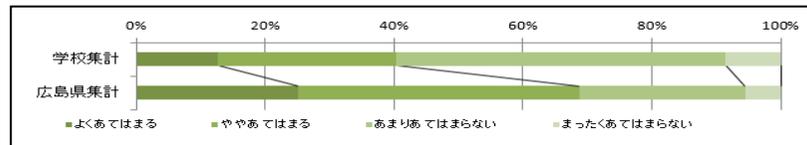
(1) 生活・学習



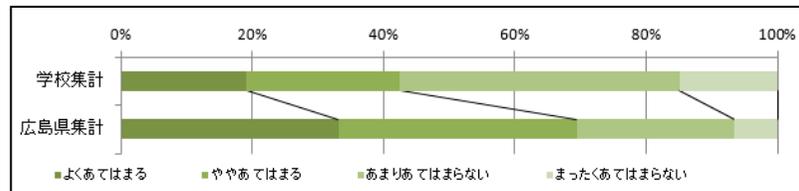
児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
思考力の項目の肯定的評価が ①「理由を考えている」が55.3% ②「話す順番を考えている」が46.8% ③「予想している」が63.8% ④「比較して聞いている」が57.4% ⑤「複数の方法を考えている」が59.6%	学校生活の中で、「説明する」「スピーチする」場面を多く設定して、自分の意見を分かりやすく伝える事を意識した学習を行う。 家庭生活では、「スピーチ」内容や毎日の日記で「順番」を意識した内容になるように取り組ませる。	5	①～⑤の項目の肯定的評価を70%以上	アンケート調査	3月上旬		

(2) 教科

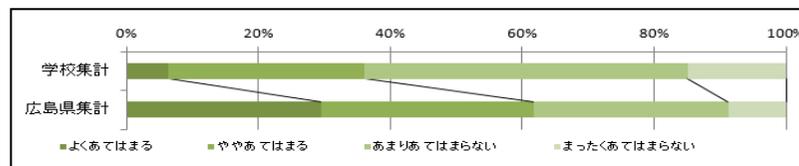
国語の授業では、伝えたいことの方がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。



算数の授業では、式が何を表わしているかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業では、伝えたいことの方がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。」の項目での肯定的評価が40.4%	「話す・聞く」の単元を中心に、話したい内容の中心意見の挙げ方の方法や理由の説明方法を「書く」→「話す」という手順で自分の考えを伝える指導を行う。	5	肯定的評価を70%以上	アンケート調査	3月上旬		
算数	「算数の授業では、式が何を表わしているかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。」の項目での肯定的評価が42.6%	文章問題での立式に取り組む時、図に表したり、立式に必要な数値や文字にアンダーラインなどの印をつけさせたりすると共に、単位にも着目させる。	5	肯定的評価を75%以上	アンケート調査	3月上旬		
理科	「理科の授業では、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。」の項目での肯定的評価が36.2%	実験では、課題に対する予想をノートに記述する時間を確保するとともに、考察の方法をしっかり理解させて意見交流や発表する時間を確保する。	5	肯定的評価を65%以上	アンケート調査	3月上旬		